

様式第5号 (第6条関係)

令和5年4月1日

(宛先) 湖西市議会議長殿

湖西市議会議員

氏名 加藤治司



政務活動費収支報告書

湖西市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項の規定により、令和4年度政務活動費について次のとおり報告します。

1 収入 政務活動費 120,000 円

2 支出 (単位:円)

項目	支出額	主たる支出の内容
調査研究費		
広報・広聴費		
要請・陳情活動費	17,180	財務相・国土交通省・環境省・厚生労働省への陳情・要請活動
研修費	66,145	日本自治創造学会研究大会・オンラインセミナー参加費
資料作成費		
資料購入費	30,030	図書購入 新聞購読料
合計	113,355	

3 残額 6,645円



会 計 帳 簿

令和4年度 政務活動費

加藤治司

支出 番号	年月日	項目	主な内容	収入	支出	残額
	R4. 4. 20		政務活動費	¥120,000		¥120,000
1	R4. 4. 22	資料購入費	しんぶん赤旗日曜版購読料4～9月分		¥5,580	¥114,420
2-1	R4. 5. 16	研修費	日本自治創造学会研究大会交通費		¥17,360	¥97,060
2-2	R4. 5. 19	研修費	日本自治創造学会研究大会宿泊費		¥8,400	¥88,660
2-3	R4. 5. 19	研修費	日本自治創造学会研究大会参加費		¥15,000	¥73,660
3	R4. 5. 27	資料購入費	日経グローカル 共同購入		¥13,260	¥60,400
4	R4. 6. 24	資料購入費	13歳からの地政学		¥1,650	¥58,750
5	R4. 7. 8	資料購入費	一番やさしい地方自治の本		¥2,090	¥56,660
6	R4. 10. 6	資料購入費	しんぶん赤旗日曜版購読料10～3月分		¥5,580	¥51,080
7	R4. 10. 27	研修費	地域の人・あるものを活かす持続可能なまちづくり セミナー参加費		¥25,385	¥25,695
8	R4. 11. 25	要請・陳情活動費	財務省・国土交通省・環境省・厚生労働省への陳情・要望活動		¥17,180	¥8,515
9	R4. 12. 9	資料購入費	日本の論点 2023～24		¥1,870	¥6,645
					¥113,355	¥6,645

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 加藤治司

会計年度	令和4年度	支出番号	1		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額		5,580 円			
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 (円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
	令和4年 4月22日	資料 購入費	赤旗 浜松出張所	5,580円	●資料名 しんぶん赤旗4~9月分
		その他 ()		円	
支出目的	しんぶん赤旗による、多面的な情報を議会活動の参考とする。				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

別紙

領 収 証 加 藤 治 司 様 No. 46

金額							
				4	5	8	0

内 訳
現金
小切手 /
手形 /
消費税額等(%)
消費税額等(%)

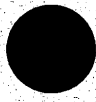
但し、この領収証は、贈与税の課税対象とならないことと、
令和4年4月22日 上記正に領収いたしました

赤旗浜松出張所

〒433-8122 浜松市中区上島2丁目13-17
TEL (053) 474-2141

収入印紙

登録番号



GR1621

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 加藤治司

会計年度	令和4年度		支出番号	2	
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費		<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額		40,760円			
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
1	令和4年 5月16日 ほか	交通費	JR 東海 東京メトロ 都営地下鉄	17,360円	●旅費内訳書との差額 (520 円) 東京から浜松 新幹線復路自由席
2	令和4年 5月19日	宿泊費	東横INNアキバ 浅草橋駅東口	8,400円	●宿泊費 6,800円 ●夕食加算 1,600円 ●朝食加算 円
3	令和4年 5月19日	参加 負担金	日本自治創造 学会	15,000円	●参加負担金 15,000円 ●振込手数料 円
		資料 購入費		円	●資料名
		その他 ()		円	
支出目的	2022年度 日本自治創造学会研究大会 受講				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

別紙 /

領 収 書

No. 52200015542

2022年5月16日

加藤 治司 様

金額		百万	4	千	7010	円
----	--	----	---	---	------	---

但し 乗車券類等代金

上記金額確かに領収いたしました 「消費税等込み」

東海旅客鉄道株式会社

新居町駅 現金出納社員

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済



東京メトロ

領 収 書

ご利用ありがとうございます。
この領収書は大切に保存してください。

お取引内容: きっぷ ¥170

上記金額を領収いたしました。

ご利用日付 2022年05月19日
時刻 12時04分

伝票番号: 07230
東京地下鉄株式会社
地 東京駅 券02発行

領 収 書

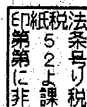
加藤 治司 様

ご利用日付 2022年05月20日

時刻 14時36分

カード番号: ----

取引内容: 乗車券購入 金180円



伝票番号: 26064

・毎度ありがとうございます。

都神保町駅 券 42発行
東京都交通局

領 収 証

加藤 治司 様

No. 127

金額

715000

但 第14回 日本自治創造学会研究大会 参加費
2022年 5月 19日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

一般財団法人

日本自治創造

理事長 総 坂

東京都千代田区神田佐久間町

No. 3656435

領 収 証

客室番号

1314

加藤 治司

様

¥6,000-

但し ご宿泊代・駐車代・宿泊税・その他 **朝食付き** 料金として
2022年 5月 19日 上記正に領収いたしました

現金 カード その他

内 訳 5/19 1泊

収 入
印 紙

税抜金額

消費税額(10%)

宿泊税額

東横INNアキバ浅草

〒111-0052 東京都台東区

TEL 03-5852-1111

担 当

2019.6

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 加藤治司

会 計 年 度	令和4年度	支 出 番 号	3		
項 目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費				
合計支出金額		13,260円			
枝番	支出年月日	支出内容	支 出 先	金 額	内 訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 (円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加 負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
	令和4年 5月27日	資料 購入費	株式会社 日経BPマーケ ティング	13,260円	●資料名 日経グローバル
		その他 ()		円	
支 出 目 的		議員活動の参考になる情報を得る。			
備 考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

令和4年度 日経グローバル共同購入者一覧

株式会社 日経BPマーケティング発行「日経グローバル」を下記の議員で共同購入し、費用は各議員が均等に負担します。

令和4年 5月27日

	議員名	押印	金額	備考
1	馬場 衛		13,260 円	
2	竹内 祐子		13,260 円	
3	吉田 建二		13,260 円	
4	高柳 達弥		13,286 円	領収書等 原本保管
5	三上 元		13,260 円	
6	滝本 幸夫		13,260 円	
7	加藤 治司		13,260 円	

1人あたりの金額：(年間購読料 92,400 円 + 振込手数料 446 円) ÷ 7人
 = ・13,260 円 × 6人
 ・13,286 円 × 1人 (代表取扱者、端数処理)

振替払込請求書兼受領証

加入者名				
加入者名	株式会社 日経BPマーケティング			
金額	千	百	十	円
			9 2 4 0 0	
ご依頼人住所氏名	湖西市役所 議会事務局 様			
請求コード	10081542202204000001			
料金	(消費税込み)	日 附 印		
446 円		04-05-27	湖西郵便局	
備考	現金払 (23128) N94140001			

この受領証は大切に、保管してください。

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼人様が負担することとなります。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知する場合があります。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



請 求 書

F-500-00560-00560

請求コード

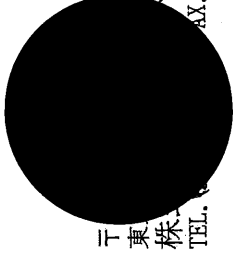
10081542-202204-0-000-01 (500)

2022年 5月 6日

湖西市役所 議会事務局 様

下記の通りご請求申し上げます。

¥ 9 2 , 4 0 0 . -



〒 東 三 島 町 3 - 1 - 2
株 式 会 社 マーケティング
TEL. FAX. (03) 5696-1150

項番	商 品 名	期 間	件 数	金 額	備 考
1	日経グローバル	1年(24Ⅲ)	1	92,400	
	合 計		1	92,400	

お振込みは、下記のいずれかの口座へお願いいたします。



上記金額はすべて消費税込みです。

BL 2022-04-0002

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 加藤治司

会計年度	R4年度		支出番号	4	
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費				
合計支出金額		1,650 円			
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 (円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
	令和4年 6月24日	資料購入費	ジャック鷺津 駅前ブック館	1,650円	●資料名 13歳からの地政学
		その他 ()		円	
支出目的	地政学の観点から複雑な国際情勢を学ぶことにより、日本の近未来の政治・経済の動向を理解し、議員活動の参考とする。				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

別紙

領 収 証

加藤 様

様

No. _____

★ 71650-

但 本行(13歳からの正課)

2022年 6月 27日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等

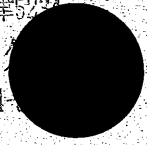
収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

〒431-0431 静岡県湖西市鷺津5234

ジャック鷺津駅前ブツ

TEL053-576-5252 FAX053-574-



支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 加藤治司

会計年度	R4年度		支出番号	5	
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費				
合計支出金額		2,090 円			
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 (円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
	令和4年 7月8日	資料購入費	ジャック鷺津 駅前ブック館	2,090円	●資料名 一番やさしい 地方自治の本
		その他 ()		円	
支出目的	市議会議員活動を三年間経験した現時点で、他方自治法に関する体系を再度学習する事で議員活動を深める。				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

別紙

領 収 証

加藤 治司

様

No. _____

★ 5,090-

但 一巻やせしり地方自治の本

2022年 7月 8日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税抜税込)
	%	消費税額等

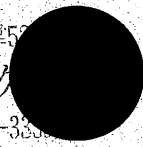
収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

〒431-0431 静岡県湖西市荒津53

ジャック荒津駅前ブック

TEL053-570-5232 FAX053-574-3300



支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 加藤治司

会計年度	令和4年度	支出番号	6		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額		5,580 円			
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 (円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
	令和4年 10月6日	資料 購入費	赤旗 浜松出張所	5,580円	●資料名 しんぶん赤旗10~3月分
		その他 ()		円	
支出目的	しんぶん赤旗による、多面的な情報を議会活動の参考とする。				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

別紙

領 収 証

加 藤 公 司 様 No. 56

金額									
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

内 訳
現 金
小 切 手 /
手 形 /
消費税額等(%)
消費税額等(%)

但し 10月6日 上記正に領収いたしました
2003年10月6日

赤旗浜松出張所

〒433-8122 浜松市中区上島2丁目13-17
TEL (053) 474-8222

収入印紙



登録番号

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 加藤治司

会計年度	令和4年度	支出番号	7		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費				
合計支出金額 25,385 円					
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 (円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
	令和4年 10月27日	参加 負担金	地方議会総合 研究所	25,385 円	●参加負担金 25,000 円 ●振込手数料 385 円
		資料 購入費		円	●資料名
		その他 ()		円	
支出目的	「地域の人・あるものを活かす持続可能なまちづくり」 オンラインセミナー参加費				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

別紙

ご利用明細  **静岡銀行**

ご利用ありがとうございます。
内容をご確認いただきお持ち帰りください。

年月日	振替先店番・科目・口座番号		
04:10:27	110		
銀行番号	店番号	科目	口座番号
[Redacted]			
お取扱店	お取引内容	お取引金額	
0385	お引出し	¥25,000	
お取扱枚数	*****		
	おつり	残	高
			[Redacted]
キャッシング	手数料	時刻	お取扱できない場合
	¥385	12510131	
お振込	[Redacted]		
宛先	カ)チホウキ`カイソウゴ`ウケンキコウ		
	シ`ヨ 様		
	カトウ ハルシ 様		
	[Redacted]		

06.520.38 ㊦ (裏面もご覧ください)

ご利用明細  **静岡銀行**

ご利用ありがとうございます。
内容をご確認いただきお持ち帰りください。 *北*

年月日	振替先店番・科目・口座番号		
04:10:27	110		
銀行番号	店番号	科目	口座番号
[Redacted]			
お取扱店	お取引内容	お取引金額	
0385	お引出し	¥25,000	
お取扱枚数	*****		
	おつり	残	高
			[Redacted]
キャッシング	手数料	時刻	お取扱できない場合
	¥385	12510131	
お振込	[Redacted]		
宛先	カ)チホウキ`カイソウゴ`ウケンキコウ		
	シ`ヨ 様		
	カトウ ハルシ 様		
	[Redacted]		

06.520.38 ㊦ (裏面もご覧ください)

領収書

2022年11月15日

湖西市議会
加藤治司 様

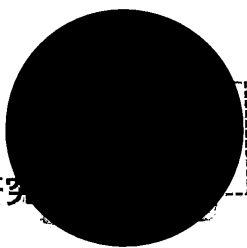
金額

¥25,000

但11月15日セミナー(オンライン)受講料として
上記正に領収いたしました

収入印紙

〒112-0011
東京都文京区千石 2-34-6

株式会社 地方議会総合研究 

令和4年11月15日

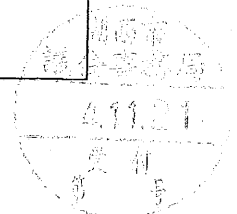
湖西市議会議員
氏名 加藤治司

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。

記

項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
期間	令和4年11月15日(火) 10:00～17:00
場所	自宅 オンラインセミナー（会場 京都経済センター）
内容	講師 広石拓司(株式会社エンパブリック代表取締役) テーマ「地域の人・あるものを活かす持続可能なまちづくり」 午前 地域の人的資本戦略 変化の時代に持続可能な地域をつくるための人への投資とは 午後 社会環境経済の好循環を生み出す統合思考の地域づくり
目的 (市政との関連性)	テーマの「地域の人・あるものを活かす持続可能なまちづくり」 は、第6次湖西市総合計画の基本構想キャッチフレーズである 「ひと・自然・業 がつながり未来へ続くわがまち KOSAI」の 推進に参考になると考え受講した。
成果	持続可能なまちづくりの為には、教育訓練を受けた人的資本を 増やして、地域づくりを包括的かつ中長期的な視点で考え、経 済・社会・環境をバラバラに考えない統合思考で考える事が 重要である事を学んだが、ポイントは多様性のある仲間と対話 し、新しい仕事を共創すること。



報告詳細

地域の人的資本戦略(持続可能な地域をつくるための人への投資とは?)

1. 財界と政府が進める「人的資源から人的資本への考え方のシフト」
・ 日本企業の人材投資額は欧米に劣り、人的資本が育っていない。
2. 地域に重要な「人的資本」の考え方
・ 人的資本とは「従業員を付加価値を生み出す資本」と捉える動き。
3. 激しい変化の時代に、地域を支える「人」とは?
・ 変化を推進できる力を持つ人「人的資本」が必要。
4. 目指したい将来の姿から人を捉えなおす
・ 未来の姿を描き、その担い手を増やす。
5. 地域の強みとなるダイバーシティ&インクルージョンとは?
・ 地域づくりに必要な人とは、多様性のある改革者。
6. 地域にある人の力を活かすための対話と学びの場づくり
・ 対話して行動の循環を生み出す場を地域につくる。

社会・環境・経済の好循環を生み出す統合思考の地域づくり

1. 短期的視点の優先順位が将来の地域にダメージを与えるかも?
・ 問題が生まれる構造を踏まえ未来の対策を考える。
2. 経済・社会・環境をバラバラに考えない/統合思考とは?
・ 「環境・経済・社会の三側面をつなぐ統合的取り組み」が変化の肝となる。
3. 企業における統合思考と統合報告書
・ 統合報告とは組織がどのように長期にわたり価値を創造するかを説明すること。
4. 地域の「6つの資本」から捉えなおす
財務資本・製造資本・知的資本・人的資本・社会関係資本・自然資本
・ 地域にあるものを「資本としてみる」ことで最大限の価値として活かす。
5. 地域づくりを包括的かつ中長期的な視点から考える
・ 6つの資本を活かすモデル活動でトライし、新たな取組みを制度として定着。
6. 未来志向のローカルガバナンスへ
・ 不確かに変動する中で、利害を調整しながら成果を生むこと。
・ 対話し共に学び、互いから学び合うことから「新たな仕事を共創する」。

以上

※ 報告詳細の欄が足りない場合は、別紙を用いること。

※ 政務活動を行ったことが分かる資料等(視察、研修会、報告会、会議等)を添付すること。

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 加藤治司

会計年度	令和4年度	支出番号	8		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額		17,180 円			
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
	令和4年 11月25日 ほか	交通費	東海旅客鉄道 株式会社 東京メトロ	17,180円	●旅費内訳書との差額 (700 円) 帰りは新幹線自由席 行きの東京メトロ未利用
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加 負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
		資料 購入費		円	●資料名
		その他 ()		円	
支出目的	東京都 財務省・国土交通省・環境省・厚生労働省へ陳情・要望活動。				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

駅-No 1244 領収書-No 36
窓口-No 102

領 収 書

加藤 治司 様

金額 ￥17,010円
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2022年11月21日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

鷺津駅

現金出納社員

印

760-

駅-No 1244 領収書-No 36
窓口-No 102

領 収 書

加藤 治司 様

金額 ￥17,010円
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2022年11月21日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

鷺津駅

現金出納社員

印

東京メトロ 領収書

・ご利用ありがとうございます。
・この領収書は大切に保存してください。

お取引内容: きっぷ ￥170

上記金額を領収いたしました。

ご利用日付 2022年11月25日
時刻 16時02分

印紙税申告納
付につき東京上野
税務署承認済
伝票番号: 37158
東京地下鉄株式会社
地蔵ヶ関駅 券04発行

760-
東京メトロ 領収書

・ご利用ありがとうございます。
・この領収書は大切に保存してください。

お取引内容: きっぷ ￥170

上記金額を領収いたしました。

ご利用日付 2022年11月25日
時刻 16時02分

印紙税申告納
付につき東京上野
税務署承認済
伝票番号: 37158
東京地下鉄株式会社
地蔵ヶ関駅 券04発行

令和4年12月1日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員
加藤 治 司

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。

記

項 目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
期 間	令和 4年 11月 25日(金)
場 所	国土交通省・環境省、財務省、厚生労働省・参議院会館
内 容	令和5年度湖西市要望書の説明と陳情を実施。 <u>国に対する要望事項</u> 1 「浜松湖西豊橋道路」の早期実現に向けて 2 物流機能の向上を図る基幹道路の整備への支援について 3 「国道1号潮見バイパス」の交通事故削減対策事業の促進と渋滞対策について 4 一般廃棄物処理施設(ごみ焼却施設、余熱利用設備)・マテリアルリサイクル推進施設(リサイクルセンター)の整備に係る財政支援について 5 水道スマートメーターの市内全域設置に係る財政支援について
目 的 (市政との関連性)	令和5年度湖西市要望書の説明と陳情



成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「『浜松湖西豊橋道路』は必要な道路と認識しているのでしっかりと進めていきたい。地方から積極的に要望活動を続けることが早期実現につながるので、活動は続けてほしい。」と、励ましの言葉を頂いた。 ・ 令和4年度補正予算では1兆2500億円の予算計上。道路補正は3300億円の予算を確保したので進めていきたい。 ⇒要望内容を理解して頂けた。 ・ 令和6年2月からのごみ焼却施設の再稼働に向け、基幹的設備改良事業及び余熱利用設備整備に二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金、リサイクルセンターの長寿命化工事に交付金を活用し事業実施をするためのご理解は頂けた。 ・ 水道スマートメーターの財政支援については、IoT活用推進モデルとして市内北部地区の成果と今後の料金体系の見直し等の説明をした。今後市内全域をスマートメーターに変更することで、配水量の平準化、施設の効率化コンパクト化等のメリットを理解して頂けた。今後も湖西市をIoT活用推進モデルとして取り組んでいただけるように要望した。
-----	--

《報告詳細》

◎ 国土交通省への要望活動には城内実衆議院議員に同席頂けた。

1 「浜松湖西豊橋道路」の早期実現に向けて

ルート決定：西側ルート⇒三河港と三ヶ日JCTを最も短距離で接続。市街地の間を通過し生活環境への影響を抑制。



令和4年度⇒ 「都市計画・環境アセスメントを進めるための調査」

⇒ 5年度予定されている調査を着実に進めることを要望。

2 物流機能の向上を図る基幹道路の整備への支援について

浜名湖西岸土地地区画整理事業（約48ha）で、車載用電池の一大生産拠点となる事業が進められている。



国道23号豊橋東バイパスの供用により東西軸の幹線道路のネットワークは形成されたが市内からのアクセスは脆弱。



南北幹線道路となる（都）大倉戸茶屋松線は浜名湖西岸土地地区画整理事業により緑の部分（区画整理事業）は進められているが、赤の部分（市）大倉戸大平線

(大倉戸 IC 入口交差点～浜名湖西岸土地区画整理事業区域)を整備できるように国からの財政支援を要望した。⇒社会資本総合整備交付金事業(工業団地アクセス)

3 「国道1号潮見バイパス」の交通事故削減対策事業の促進と渋滞対策について

国道23号豊橋東バイパスが潮見バイパスと合流し交通量が増加した。潮見トンネル付近では追突事故が発生している。⇒景観美が抜群な為県境には工場も多く立地しさらに交通量の増加。

「道の駅潮見坂」には年間80万人の来場者がある。

⇒交通事故対策事業の促進と渋滞対策を要望

4 一般廃棄物処理施設(ごみ焼却施設、余熱利用設備)・マテリアルリサイクル推進施設(リサイクルセンター)の整備に係る財政支援について

基幹的設備改良事業、余熱利用設備整備に対し補助金、交付金を安定かつ継続的に支援をお願いした。

5 水道スマートメーターの市内全域設置に係る財政支援について

令和3年度から4年度の2か年に亘り、生活基盤施設耐震化等交付金(水道事業におけるIoT活用推進モデル事業)を活用して北部地区に水道スマートメーター(1800世帯)、超音波流量計(9基)を設置。

⇒取得したデータを産官学による共同研究

↓

流達状況の把握や残留塩素濃度の動向を把握

超音波流量計から30分間隔で取得するデータ活用⇒漏水の発見

所 感

今回初めて要請陳情活動に同行した。

霞が関の官庁街等を確認できたが、特に財務省は伝統を感じる重みがあった。

今回の要望内容は、現在ある程度進捗している事業が多く、令和5年度予算が国会で可決されれば、事業は計画に沿って進むと思われる。

今回感じたことは、大型事業になるほど関係する方や省庁も多く、

予算の確保の為に、多くの壁を乗り越える必要があるという事である。 以上

※ 報告詳細の欄が足りない場合は、別紙を用いること。

※ 政務活動を行ったことが分かる資料等(視察、研修会、報告会、会議等)を添付すること。

